



広報

あくな

第367号

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和52年8月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行 1部10円

世帯数と人口 (7月1日現在)	
世帯数	9,248(+3)
人口	30,367(+48)
男	14,130(+19)
女	16,237(+29)
()内は前月比	



8月号

ハサミにかけた 自立への道

「尋常高等小学校を卒業後、まもなく鉄道事故で右足を切断。当時15歳の私は、何とか自活できる仕事と悩んだすえ、理容師の仕事を選ぶことになりました」と語る花田義治さん（大川伸仁田・46歳）。

4年間の修業を経て、昭和26年理容師の免許を取得し、理容店を開業

したあと昭和29年結婚。1男2女のうち長女は結婚し2女も名古屋に就職。現在は妻のミスエさんと長男の恒好君との3人暮らしです。

「私たち身障者は、何を失ったかを考えることよりも、何が残されているかを考えることが大切です。残存機能を十分に生かすことが、自活への道です」と、ハサミにかけた自立への道を、明るい表情で話す花田さんです。

主な見出し

計画を上回る舗装実績	2
広域農道を新設	3
保険税は平均4万4千円	4
医療費増大が保険税に影響	5
国道でハンヤ節の大競演	6
大塚眼科医院が9月再開	7
すすむ畜産振興	8
児童服疾は全国平均の60倍	9
ひろば	10
阿小が生活指導員を設置	12

道路整備 5年計画

計画を大幅に上回る舗装実績

年度	5年計画		実施延長 m	5年計画の 全体計画に 対する比率 %	舗装延長 m	舗装率 %
	計画延長 m	比率 %				
50	10,144	18.65	13,283	24.42	159,205	55.16
51	11,863	21.80	15,450	28.40	174,655	60.52
52	10,440	19.19	15,756	28.96	190,411	65.98
53	10,089	18.54	14,829	27.26	205,240	71.12
54	11,867	21.82	14,829	27.26	220,069	76.25
計	54,403	100	74,147	136.3		

道路整備5か年計画と実施延長（53・54年度実施延長は推定）

現状では来年度舗装率70%に

目標より一年早い達成

市では道路整備五か年計画を策定し、市道の改良舗装を進めています。三年目に当たる本年度までに、舗装率六六割に達し、計画より一年早く、五十三年度で目標の舗装率七〇割達成も可能な状況になりました。

また、本年度は茶内ヶ段線など三十路線一万五千七百五十六メートルの市道の改良舗装と災害復旧工事などを進める一方、引続き市道の適正な維持管理に努めることにしています。

このほか、本市から野田・高尾野・出水を経て熊本県境に通じる広域農道の新設など、道路整備は順調に進んでいます。

市では二十八万八千五百八十一メートルの市道を、計画的に整備するため、昭和五十年に道路整備五か年計画を策定しました。

計画によると昭和五十年四月一日現在で、舗装率五二割の市道を五十四年度末には舗装率七〇割とする計画で、五年間に五万四千四百三十三メートルを改良舗装することになっていました。

このため、毎年、全体計画の一・九割から二・二割を改良舗装することにしていましたが、道路整備事業に力を注いでいる本市では、事務費などの経費節減を図る一方、五十一年度から臨時市町村道路整備

事業を導入するなど、舗装率七〇割達成のため努力してきました。

この結果、本年度末までには四万四千四百八十九メートルを改良舗装することになり、早くも舗装率は六六割に達します。五か年計画を策定後、毎年、平均一万四千八百二十九メートルを改良舗装しており、仮に来年度も一万四千八百二十九メートルを舗装することになれば、舗装率は七一・一割に達し、計画年度より一年早く舗装率七〇割を突破することになります。

従って、今後も同程度の改良舗装をすることができると、昭和五十四年度末には舗装率七六・二割となります。

また、五十三年度と五十四年度は、五か年計画による改良舗装にとどまった場合でも、舗装率は七三・六割に達し、五年間で二一・六割の大幅な伸びとなります。

本年度は三十路線を整備

遠見ヶ岡線も災害復旧

道路整備五か年計画による昭和五十二年度の舗装計画では、筒田線など一万四千四百三十三メートルを改良舗装することになっていました。

この計画によって、過疎対策事業として茶内ヶ段線と大川本線、広域事業として筒田線をそれぞれ改良舗装することになっています。

また、熊本愛宕線など九路線を農道舗装事業で整備し、失業対策事業で木佐木野村中線など十一線の舗装を予定しています。

このほか国が景気浮揚策として昨年度から市町村に奨励している臨時市町村道路整備事業を本年度も奨励することになり、（次頁へ）

投票率は77・8%

参院通常選挙

七月十日全国各地で一斉に投票が行われた第十一回参議院通常選挙は、本市でも市体育館など市内二十一投票所で行われました。

投票率は、七七・八割で、即日開票の結果、本市での各候補者の得票数は次のとおりでした。

地方区（届出順）

当八四七〇 金丸 三郎 自新
三〇〇 中岡 浩一郎 共新
当三七五三 田原 武雄 無新
一四一〇 佐多 宗二 自前
二四一八 今村 勝美 社新
全国区（届出順）
当一八〇 玉置 和郎 自前
七 武藤 寅男 諸新
当二八 小平 芳平 公前
当四六八 梶本 又三 自前
当二九 古武 輝子 無新
当一三 渋谷 邦彦 公現
当三 城戸 嘉世子 女新
当一五二 扇 千景 自新
当六四 望月 優子 社前
当一 奥崎 謙三 無新
当三三 多田 省吾 公前
当一五 阿部 修 無新
当二三四 安西 愛子 自前
当五四 鈴木 武樹 革新
当八二六 榎本 正利 自前
当四一 中野 明 公新
当二九三 あき山 篤 社新
当一九〇 田 英夫 社前

（次頁下段へ続く）



5 路線の舗装工事完了

失業対策事業による市道の改良舗装を進めている本市ではこのほど大瀬・黒之上線など5路線の舗装を完了。引き続き折口村中線など6路線の改良舗装に着手することになっています。また来月は農道舗装事業として9路線を、10月には過疎地域事業で3路線の改良舗装を予定しています。



内田から受ノ口に農道を新設

内田から丸内を経て野田町受ノ口に通じる県営過疎基幹農道整備事業が順調に進められています。本年度は総事業費約1600万円で長さ8、4 m幅員7 mの橋梁(4号橋)と200 mの取付道路を整備。来年度までの3か年計画で、延長2420 mの農道を新設し、農産物の搬出道路とする計画です。

本市も引き続き臨時市町村道整備事業を導入し、中央線（桑原城）など七路線の改良舗装を新たに実施するよう予算措置しました。

この結果、本年度は三十路線一万五千七百五十六メートルの市道を改良舗装する予定で、失業対策事業で実施する山下・園田線など五路線は、すでに完了しています。

このほか、昭和五十年年度発生のも市道関係の災害復旧工事は、本年度事業として荒田平線など七箇所を実施し、六月に復旧工事を終えすべての災害復旧工事を完了しています。

市道などの災害復旧工事は、国の補助を受けて実施するため、災害発生年度内に復旧できないのが

実情です。

このため五十一年度に発生した百十二箇所[〃]の市道の災害復旧工事については、前年度八十四箇所を[〃]復旧、本年度は意見ヶ岡線の災害

復旧工事を発注していますが、二十七箇所の災害復旧工事が残されています。

林道関係では、五十一年発生の九箇所の災害復旧工事のうち、前

年度三箇所を復旧、本年度は紫尾林道など四箇所をすでに復旧しています。二箇所については国庫補助金の決定をまって、早急に復旧するよう準備をすすめています。

広域農道を新設

一部は来年度着工

阿久根・出水間に農道を新設する広域農道推進協議会は、七月十四日出水市で開かれ、二市二町の関係者約二十人が出席し、今後の

取組みについて協議しました。

このなかで異は、本市の西目か

ら野田・高尾野・出水市を経て、

熊本県境に通じる広域農道を新設することを明らかにし、関係市町の協力を求めました。”

この広域農道は延長三三・八キロ、幅員七・五メートルの道路で、総事業費は約六十五億円。現在のところ完成までには十五年ほどかかる計画

総延長のうち九・二％が本市側の道路で事業費は約二十億円。このうち約一億八千万円を市が地元負担金として県に支払うこととなります。

この広域農道が完成しますと、出水地区内の宮農団地を結ぶ基幹農道としてはもちろんのこと、国道3号線のバイパスとしても期待されているようです。

で、一部は来年度着工することになっています。

當一		當	當
二八	一五	八九	五
九	二	中尾	近藤
和泉	篠原	辰義	忠孝
照雄	金次郎	藤島泰輔	共前
	成田得平	自新	
	諸新	無前	
		公前	
		公新	

當一〇二	當二九八	當一二三	當一四六	當三七〇	當一九四五	當一八九	當八四	當四五	當一〇	當六五
楠 正俊	栗林 卓司	中村 利次	江田 五月	堀島 茂夫	堀江 正夫	田中 寿美子	藤井 恒男	一竜各白鳳	松井 恒子	望月 正作
自前	民前	民前	市新	自新	自新	社前	民前	自前	社新	自新

西五	長沢純	無新	一六	林隆造	無新	五二	円山雅也	夕新	五二	川上源太郎	無新	六	宮崎正義	公前	一八	馬場康一	革新	二一四	内藤馨三郎	自前	八一	中尾太人	諸新	二九七	藤井裕久	自新	七二三	竹内潔	自新	六三	松前達郎	社新	七三	八代英太	無新
----	-----	----	----	-----	----	----	------	----	----	-------	----	---	------	----	----	------	----	-----	-------	----	----	------	----	-----	------	----	-----	-----	----	----	------	----	----	------	----

(次頁下段へ続く)

国民健康保険税

一世帯当たり四万四千円

医療費の伸びに比例

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税条例が改正されました。今回の改正に、賦税改正となっていますが、所得の若干の伸びによって、本年度の一世帯当たりの課税額は平均四万四千元となっています。これは前年度に比べ約七割の負担増となりますが、前年度の被保険者一人当たりの医療費は五万五千四百八十九円に達し、五十年度に比べ約七割の医療費の伸びと同率となっています。

今回の国民健康保険税条例の一部改正は、従来の増税改正と異なり、低所得者に対する減税改正となっております。

一世相當たり平均四万四千円の課税額となっています。

これを被保険者一人当たり換算しますと、一万四千八百三十一円となり、別表一のように県内十

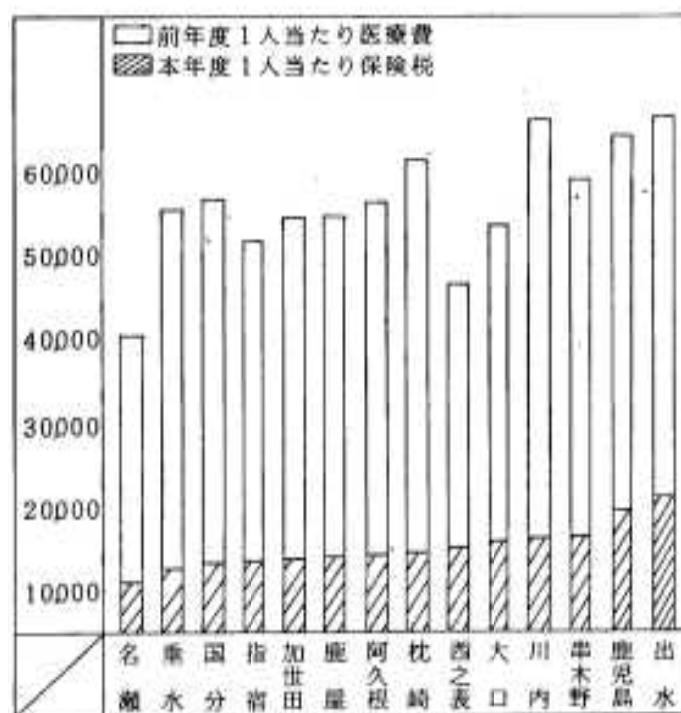
四市の中位程度の課税額です。

また、前年度一人当たりの医療費は、五万五千四百八十九円であり、五十年度の一人当たり医療費五万一千七百八十四円に比べ、約

改正の主な内容は①前年の所得が、基礎控除額（二十万円）以下の世帯の場合、均等割（五千円）と平等割（六千三百円）を六割軽減する②前年の所得が、基礎控除額と被保険者（世帯主を除く）一人当たり十五万円とを加算した額以下の場合、均等割と平等割を四割軽減する—というものです。

この減税改正によって、国民健康保険に加入している約六千四百世帯のうち、千五百世帯あまりが恩恵を受けることになります。

しかし、保険税の算定基礎となる所得割、資産割、均等割、平等割の税率は、前年度の税率に据え置かれています。一般的には所得の若干の伸びなどの関係で、前年度に比べ約七割の負担増となり



別表 1. 県内14市の1人当たり医療費と国庫税

七 別表2. 保険税の計算例

家族構成	夫婦と子供1人
所得額	65万円
固定資産税額	11,700円
基準総所得金額	65万円 - 20万円(基礎控除) = 45万円
所得割	45万円 × 0.04 = 18,000円
資産割	11,700円 × 0.41 = 4,797円
均等割	5,000円 × 3人 = 15,000円
平等割	6,300円
保険税額	44,090円

七智の伸びと なっています

医療費に給付

国民健康保険税は、国保に加入している人たちの医療費や助産費、葬祭費として使う目的税です。従って、国民健康保険税によって、道路や漁港を整備したり、土地基盤整備などを行うことはできないことになっています。

国民健康保険制度は、保険税と国庫補助金によって運営され、これに加入している人たちが病気やけがなどで、医療機関の治療を受けた場合、治療費の七割を国民健康保険で負担する制度です。

この結果、医療機関の窓口で本人が支払うお金は治療費の三割と負担が少ないことから、受診回数が多くなりがちで年々医療費が増大し、保険税引上げとなって皆さんの負担増を招いています。

三	二	一八	三四	四二	一八三	三五	七六	三四	九四〇	三八	一八	三二	一〇	五二四	一六七	六二	四四一	一〇	六二	六三	三七	三六	一九	九	一六	八八	四〇〇	一	九一八	三四五	一〇〇	三四	一五三	五	
篠塚 幸子	齊藤 千恵子	有田 二郎	加藤 進	宮本 顯治	大木 正吾	町村 金五	佐藤 敬夫	下田 京子	古賀雷四郎	小牟田棋山	増岡 康治	拍原 ヤス	安倍 良一	佐藤 三吾	大森 昭	矢追 秀彦	石本 茂	安恒 良一	矢追 秀彦	柳沢 鍊造	伊江 朝雄	鬼頭 史郎	市川 正一	春日 正一	松田 照久	松浦 義年	横山 ノック	片山 正英	高橋 秀郎	宮之原貞光	星野 力	西村 尚治	黒住 忠行	山崎 昇	高橋 圭三
女新	女新	女新	共前	共新	社新	自前	夕新	共新	自前	無新	自新	公前	社新	社新	社新	公前	自前	社新	民新	自新	無新	共新	共前	無新	無新	革元	自前	諸新	社前	共前	自前	自前	社前	無新	諸新

(次頁下段へ続く)

医療費増大は保険税に影響

やめよう時間外などの受診

医療費の給付を主な目的とする国民健康保険制度は、前述のように保険税と国庫補助金によって運営されています。

国民健康保険から支払われる医療費が増大しますと、それに伴って国庫補助金も多くなりますが、反面、保険税から支払われる医療費も多くなります。

保険税から支払われる医療費が多くなると、従来の保険税では賄いきれなくなり、地方税法によって税率を改正し、保険税を上げるということになります。

従って、保険税を安くするためには、一人一人が健康に注意し、国民健康保険から支払われる医療費を少なくすることが大切ですが

現実には年とともに医療費が増大しつつある実情です。

医療費増大の原因のひとつには時間外や休日などの受診や往診などがあげられます。

例えば別表一を御覧ください。時間外や休日、深夜の初診料・再診料は、治療内容が全く同じ場合でも、時間内の初診料・再診料より

りも高くなります。

時間外・休日・深夜の受診は、医療費が高くなるだけでなく、お医者さんにとっても迷惑なことです。やむを得ない場合を除きなるべく時間内に治療を受けるよう心掛けたいものです。

また、医療費増大の大きな原因は、老人医療費の無料化だと言われています。

お年寄りは年齢的にも病気になるやすいわけで、もちろん適切な治療は必要なのですが、なかには月に何回も病院をかえたり、必要以上の往診などをお願いする人もあるようです。

このため治療効果があがらないなど、医療費増大の原因にもなっています。

特にお年寄りは、往診を受ける機会も多いわけですが、往診の場合、距離や往診時間などによって別表二の額が往診料として治療費に加算されますので、できるだけ病院で治療を受けるように心掛けたいものです。

国民健康保険制度は、万一の病気やけがに備えて保険税を納め、健康なときは他人を助け、自分が病気などをしたら、みんなに助けをいただくという相互扶助の精神で成り立っています。

この相互扶助の精神で、一人一人が健康に注意し、病気やけがのない明るい生活を心掛け、誠実に結びつきたいものです。

障害年金の支給開始月となる医療認定日は、初めて医師や歯科医師の診療を受けた日から三年目と定めていたが、国民年金法の一部改正によって、一年六ヶ月目に認定することになりました。

これまで、三年以内に病状が固定していても、脳内出血による半身不随など、一部の症状を除いて三年目が医療認定日とされていましたが、今回の改正によって一年六ヶ月目を医療認定日とするよう改善されたものです。

今月一日起、初診日から一年六ヶ月を経過している人で、障害年金に該当する人は市役所国民年金係にご相談ください。

初診日から一年半目に支給 障害年金の支給基準日変更

一五	野崎 章子	女新
二〇	高田 隆	無新
四〇	池山 重明	市新
一〇	木口 行美	無新
三七	阿部 玉子	革新
一〇	渡部 美恵子	女新
二〇	福 忠雄	無新
二九	井澤 恵子	女新
一一	中島 久美子	女新
〇	間瀬 誠太	無新
二一	大迫 修一	無新
一四	野村 照雄	無新
一四	鈴木 あきら	無新
一〇二	鈴木 広	無新

ハンヤ節の大競演

は 人 が き の 山

る大行進。午後6時、花火を合図に駅前と大丸から一斉にスタート。夕暮れとはいえ夏の盛りに汗ダクで踊る若い男女。ユカタ姿に貫録も備えたお父さん、お母さん…みんな顔に汗をかいて熱演していました。沿道には都会を思わす人がきが連なり、祭りを楽しんでいました。

披露する先頭の娘さんたち
手つきよく本家のハンヤ節を



▽ 英流もハンヤ節で登場
阪元市長も「踊り子」に変身



▽ 揃いのユカタ姿で踊る子供たち



△ 豊漁を祈って漁業青年団も参加



△ 市内の銀行の娘さんたちも参加



△ 実況ナマ放送
鹿銀前では「ハンヤ節」を



郷土芸能の競演 夏祭り前夜祭

愛友会主催の夏祭り前夜祭はハンヤ節大行進のあと、午後八時から中央公園広場で行われました。前夜祭では、まず青年商工クラブが手つきも鮮やかに「いにしゑ大鼓」を披露。赤瀬川青年団と山下青年団は棒踊りで対抗。昨年、全国青年大会に出場した折口青年団が勇壮な棒踊りを披露すれば、三笠青年団がカネと太鼓による山田楽を披露するなど、郷土芸能の競演となりました。

このほか、阿久根うたう会のコーラスやチビッコのど自慢大会もあり、同夜の中央公園広場は、なごやかな歌と踊りにつつまれて盛況なふん囲気でした。

夏祭りの益金を寄付 仲よし子供会親和会

「交通遺児など、恵まれない人たちのために役立ててください」と、このほど寺田充朗さんから「仲よし子供会親和会」の会員三十八人は、夏祭り所得の益金五万四千八十円を市に寄附しました。

寺田さんらは「夏祭りに参加する機会のない子供たちに、ふるさとの祭りの思い出をつくっていただこう」と計画。交通安全折願のみこしを、子供たちと一緒にやって夏祭りに繰り出し、その益金を市に寄附したものです。

国道を舞台に阿久 夏祭りに沿

観光阿久根の夏を彩る恒例の夏祭りは、8月5～6日の両日、商売繁盛の折りをこめて盛大に行われました。5日のハンヤ節大会と愛友会前夜祭に続き、6日は山車踊りや祇園太鼓などが市街地に繰り出し、夜の花火大会で幕を閉じました。なかでも祭りの圧巻はハンヤ節によ

△可愛い手つきで子供たちも踊りに参加
▽七日は市街地に山車踊りも登場



▽前夜祭で折口青年団は「鐘踊り」を披露



山田桑を披露
△七日、三笠青年団は



大塚徳平先生の転出以来、市街地に眼科医をという市民の期待に応えて、坂元市長は四月十一日水産庁に陳情のため上京の際、昭和医科大

眼科治療に朗報

大塚医院が九月再開

学附属病院に勤務の大塚先生と会談。「先生の転出以来、阿久根市民は眼科治療にたいへん不自由をきたしている」と実情を訴え、大塚先生の帰郷を要請。その後、数回の交渉を経て、このほど、ようやく

最近、本市では小中学生のトラコーマなどが急増し「市街地に眼科医を」というのが市民の悲願となっていただけに、大塚先生の帰

ることとし、准看護婦の有資格者一人を市総務課で斡旋することになっていますので、ご希望のかたはお問い合わせください。

く大塚先生のご承諾をいただき、来月から再び阿久根で眼科医院を開業していただくことになりました。

郷による再開は、市外に通院している人たちが小中学生の眼科治療に朗報となっています。なお、眼科医院再開に当たって

大塚先生は、准看護婦の資格をもった人の紹介を要請。市も市民の健康保持の立場から協力す



宅地など公売

市では琴平町の旧失業対策資料置場跡地と本町の旧市営質屋跡地を、左記によって公売します。

①琴平町一―一番地

面積一〇一〇・七三平方メートル

②本町一三四番地

面積一五六・二平方メートル

建物―木造瓦葺平家建一〇七・三平方メートル

処分の方法

①公売の方法 一般競争入札
②入札の日時 八月二十四日 午前十一時
③入札の場所 市役所
詳しくは市役所財政課にお問い合わせください。

香典返してロータリーローダー購入
このほど市では、四丁ダンプのゴミ収集車に代えて、ロータリーローダーを購入しました。
このロータリーローダーは三百八十万円で購入。うち三百万円は市社会福祉協議会の香典返し寄付などによるものです。
同協議会では「市民の皆さん方の善意による寄付は、今後とも市民に還元し、善意に報いたい」と話しています。

進む畜産振興

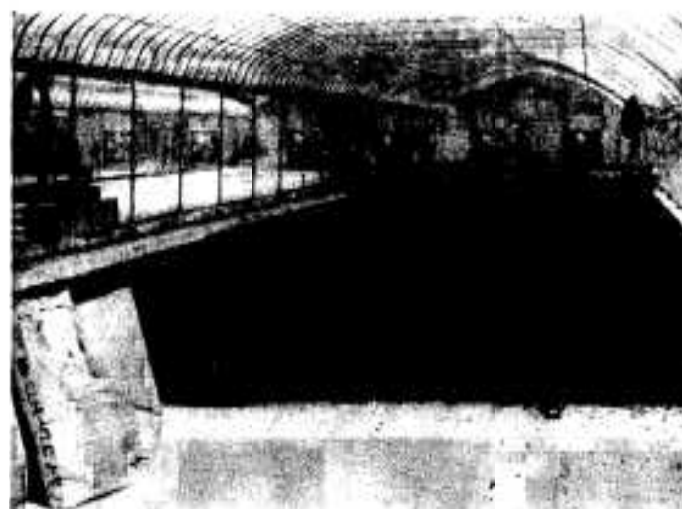
県内では有数の仔豚生産地

肉牛農家も専門化へ

専業農家の育成を促進している本市では、昭和五十一年度の第二次農業構造改善事業で、肉牛団地と養豚団地を造成するなど、畜産振興に力を注いでいます。そこで、農業経営の改善向上とともに、新しい基幹産業として期待されつつある畜産経営の実態などについて紹介します。

現在、市内には三百八十九戸の養豚農家があり、母豚千三頭、肉豚六百五十頭を飼育しています。養豚農家のうち三百五十一戸が母豚を飼育。仔豚生産に取り組み、昨年は一万七千頭を生産。本市は県内でも屈指の仔豚生産地区となっています。

ことしは鶴川内羽田に養豚団地も完成。迫 庄吉さんら七戸の農家が、将来四百二十頭の母豚と二十一頭の肉豚を飼育し、年間六千七百頭の仔豚生産を目標に、現在二百十頭の母豚と、九頭の肉豚を飼育するなど、本市の新しい基幹産業として畜産経営が見直されつつあります。



△養豚団地の糞尿は貯尿槽から乾燥室へ送られ無臭の肥料として加工するなど公害対策も万全



△畜産経営も多頭化、専門化へと移行

つあります。

また、四百二十五戸の農家が肉牛千八百頭を飼育し、牛肉五百八十頭を生産。数年前までは、土づくりの一環として、二、三頭の肉牛を飼育していた農家が、最近は一頭数を増やすなど、専門的な肉牛農家へと変わりつつあります。

赤福川牧内に完成した肉牛団地もそのひとつで、同団地は築地新格さんら五戸の農家が、常時二百五十頭の肉牛を飼育。専業農家への脱皮に必死の構えです。

このほか三十二戸の農家が百八十九頭の乳用牛を飼育。年間五百四十頭の牛乳を生産しています。

公害防止対策が今後の課題

畜産経営は、従来の農家の余剰労働力を消化するといった副業的畜産から、経済の変動とともに多頭化・専門化へと、少しずつ移行しつつあります。

そこで市では、昨年度、北隣では初めての養豚団地と肉牛団地を造成する一方、赤福川の牧内と根比に飼料畑を造成。本年度は畜産導入貸付金の貸付を二千万円に増額するとともに、酪農ユニットクレーターの購入にも補助をするなど畜産の振興に力を入れています。畜産経営の改善向上とともに畜産汚臭や排せつ物の処理など、公害防止対策も課題となっています。

おめでた

出生児

保護者 区名

上村 大樹	保護者 区名	上村 大樹
河北 美鶴	成男(高之口)	河北 美鶴
牛之濱 安伸	住行(牛之浜)	牛之濱 安伸
田中 泰	政雄(一柳)	田中 泰
松本 倫子	晃(高松)	松本 倫子
谷口 智江子	栄(波留)	谷口 智江子
貴島 良子	正和(陳之尾)	貴島 良子
川崎 猛	幸一(大丸)	川崎 猛
宮路 隆博	信夫(新町)	宮路 隆博
中島 康太郎	康徳(永田下)	中島 康太郎
太田 有紀	和良(上野)	太田 有紀
長谷 里志	盛光(上野)	長谷 里志
畑野 淑子	賢吾(波留)	畑野 淑子
坂元 理沙	庄蔵(浪)	坂元 理沙
中野 電弥	芳信(折口東)	中野 電弥
大石 源広	才二(一柳)	大石 源広
中野 雄介	正照(寺山)	中野 雄介
折口 龍次	哲郎(幸田)	折口 龍次
坂上 直子	富夫(一馬)	坂上 直子
遠矢 恵美	和幸(倉津)	遠矢 恵美
下園 由理香	道廣(尻無下)	下園 由理香
弓木野里美	明(横手)	弓木野里美
伊 宏介	翼(大川島)	伊 宏介
神之田 知美	三郎(仲仁田)	神之田 知美
的場 博樹	博美(的場)	的場 博樹
跡上 哲史	貫道(黒之浜)	跡上 哲史
外戸口 徳栄	勇(古里)	外戸口 徳栄
堀尾 祐介	豊志(黒之浜)	堀尾 祐介
測上 美香	正藤(橋之東)	測上 美香
跡上 なぎさ	久(黒之浜)	跡上 なぎさ
村上 誠	啓三(黒之浜)	村上 誠
上野 裕也	裕司(大谷)	上野 裕也
堀尾 麗子	三一(黒之浜)	堀尾 麗子

小学生ト
ラコーマ

全国平均の60倍

体格も出水地区で五番目

児童・生徒の健康管理と保健指導のあり方を見出す阿久根市学校保健研究会は、七月八日市民会館で開かれました。

会には市内の小中学校長や保健担当職員、PTAなどの関係者約六十人が出席。市内の児童・生徒の健康管理の実態と課題などについて意見交換しました。

このなかで久野重光・田代小学校長は、市内の児童・生徒の体力や運動能力、疾病の現状を統計資料によって報告し「本市の子供た

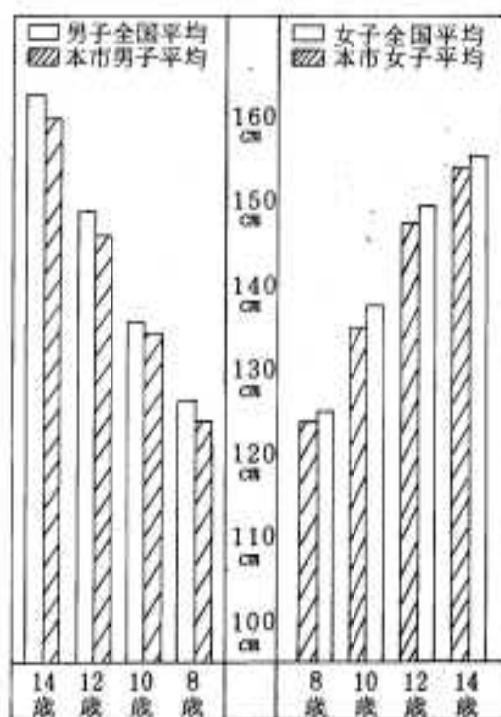
ちは体格、体力とも劣り、眼疾や中耳炎などの疾病をもつ児童が非常に多い」と発表しました。

特に身長・体重・胸囲・座高については、全国平均と県平均のほかに、出水地区内の二市四町の平均も集計、本市の十四歳男子の平均身長は一五九・八センチで、別表のようにならぬ全国平均よりも二・四センチ低いほか、出水地区内の六市町でも五番目の身長であると報告。十四歳女子も全国平均より一・四センチ劣る一五三・六センチで、出水地区内でも

五番目に低い平均身長であることなどをあげ、本市の児童・生徒の体格が劣ると指摘しました。

また、小学校の児童一二・一型がトラコーマで、これは全国平均の六十倍、県平均の二十倍に相当

本市児童・生徒の平均身長と全国平均



し、本市の児童・生徒はトラコーマや結膜炎などの眼疾が非常に多く、近視の傾向が高まりつつあると述べています。

このほか、三笠中学校の岡田和弘先生は、同校の生徒を対象にした生活調査を報告。このなかで一年生の三〇％、二年生の四〇％、三年生の五〇％が朝食めきで登校していると発表。家庭での母親の役割と子供の健康管理に対する家庭の協力を呼び掛けていました。

こうしたことから同保健研究会では、市内の児童・生徒の体格や

体力などが劣ることを重視し、今後は、身長・体重・胸囲などの体格や体力を伸ばす一方、トラコーマなどの疾病の早期治療体制を確立するよう家庭や地域社会の協力と呼び掛けることにしています。

おくやみ

松崎	清	82	(本町)	キタ	徳
大田	カスミ	62	(大丸)	時芳	徳
上野	重志	77	(大丸)	テル	徳
大須賀秀敏		61	(上野)	ツルエ	徳
野中	ナセ	85	(弓木野)	敦雄	徳
猿桑	セキ	86	(佐鷗)	住雄	徳
上野	ツタ	75	(新町)	岩蔵	徳
佐鷗	イセ	89	(高之口)	住夫	徳
中野	重実	54	(田代中)	イネ	徳
松水	覚助	56	(牛之浜)	サノ	徳
美里	デンダウ	84	(東牧内)	イクエ	徳

中学校卒業程度の

認定試験を実施

病氣などのやむを得ない理由で義務教育を修了できなかった人を対象に、昭和五十二年度の中学校卒業程度認定試験が行われます。この試験に合格しますと、高校への入学資格が与えられます。

▽獎勵資格

来年三月末日までに満十五歳以上になる人で、次に該当する人。
①義務教育の猶予または免除を受けた人。②旧尋常小学校、国民学校への就学を猶予または免除された人などとなっています。

願書受付は九月十六日までとなっています。受験希望の方は市教育委員会へお問合わせください。



▶ 長に陳情する坂元市長
農林省で森構造改善局

の冠水解消策として昨年度から着工している飛松地区たん水防除事業の進捗状況を報告するとともに、国庫補助金の増額について賛情。また、多田内田から大下・丸内を経て野田町受ノ口に通じる農道の新設事業として、現在、着工中の過疎基幹農道整備事業に対する国の援助方を要請しました。

備拡充について陳情しました。

3年ぶり7回目の全国優勝

大川剣道スポーツ少年団



優勝を喜ぶ大川剣道スポーツ少年団（左から寺地賢二郎君、大田利文君・坂元市長・寺地進君・大田安己君・若松省三君）

七月三十日から三十一日まで東京の日本武道館で開催された第十二回全日本少年剣道連成大会で、大川剣道スポーツ少年団が優勝し、三年ぶり七回目の全国制覇を成し遂げました。

同大会には全国各地から二百四十二チームの剣道少年団が参加。一回戦は岐阜県代表の関剣道スポーツ少年団と対戦、四対一で初戦を飾ったあと、二回戦・三回戦・準決勝で埼玉県・長崎県・宮崎県の代表をそれぞれ五対〇で連破し、決勝に進出。決勝戦でも栃木県代表の養心館を五対〇で破り、見

事、優勝の栄冠を手に入れました。また、八月二日鹿児島市の武道館で開催された県下中学校総合体育大会の剣道でも優勝。今月十一日博多での九州大会と、今月十六日東京、日本武道館での全国大会に出場することになっています。

相次いで全国大会と県大会を制した大川剣道スポーツ少年団は、下関軍志監督や永山貫徹大川中学校長らと坂元市長を訪ね優勝と全国大会出場を報告。「十六日の全国大会は、連続優勝と郷土の名譽をかけて、正々堂々と戦います」と元氣よくこたえていました。

ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

赤瀬川で53回目の体育祭

53年の伝統を誇る赤瀬川地区体育大会は、7月31日市総合グラウンドで開催されました。同日は青年団や消防団婦人会など、ほとんどの地区民が参加。100m競争や百足競争などによる部落対抗戦を混じえて炎天下に熱戦を展開し、地区民の融和を図りました。



青年商工クラブがクリーン作戦

「市街地の中央を流れている高松川が汚れていては、観光阿久根の看板に傷がつく」と、七月十八日（月）青年商工クラブが高松川の清掃をしました。同日は小雨日和のなかを約六十人が参加、バケツやビニール袋を片手に「川はゴミ捨て場ではないのにと、意外に多いゴミに驚いていました。



在宅医さん

八月十四日

北国医院 ②0016 (本町)

内山病院 ③1551 (高松)

黒木医院 ⑤0200 (下村)

八月十五日

堀切医院 ②0263 (高松)

田中醫院 ③0553 (大丸)

石原医院 ⑤0045 (橋之東)

八月二十一日

阿久根内科 ③0578 (新町)

中村病院 ②0015 (大丸)

浜之上医院 ⑥2600 (協馬場)

八月二十八日

上國医院 ③1055 (本町)

喜多医院 ②0038 (大丸)

平 医院 ⑤2626 (古里)

九月四日

北国医院 ②0016 (本町)

内山医院 ③1551 (高松)

黒木医院 ⑤0200 (下村)

九月十一日

堀切医院 ②0263 (高松)

田中醫院 ③0553 (大丸)

石原医院 ⑤0045 (橋之東)

九月十五日

阿久根内科 ②0578 (新町)

中村病院 ③0015 (大丸)

浜之上医院 ⑥2600 (協馬場)

九月十八日

上國医院 ③1055 (本町)

喜多医院 ②0038 (大丸)

平 医院 ⑤2626 (古里)

市消防団長に山下さん

副団長は神之田さんと大庵さん



山下正雄さん

黒崎定男阿久根市消防団長の任期満了によって後任に山下正雄副団長が昇格。七月十五日付で市消防団長に任命されました。

山下さんは昭和二十二年三笠町消防団員として奉職以来、三十年間にわたり消防行政発展のため貢献されてきました。その間、昭和

二十五年三笠町中央分団副団長昭和二十八年三笠町中央分団長を歴任。昭和三十四年から阿久根市消防副団長として活躍され、これまでに日本消防協会の精進章をはじめ、県消防協会の精進章や功績章などを受賞されています。

市消防団長に就任した山下さんは「市民の生命と財産を守るため団員とともに一層がんばりたい」と抱負を述べられています。

また、神之田月教大川分団長と大庵国男中央分団長が、阿久根市消防副団長に就任しました。

不振の3地区大会

阿久根市・牛深市・全長島による三地区親善体育大会は、7月24日牛深市で開かれ、地元の牛深市が6種目を制して総合優勝。本市は卓球と男子バレーボールに優勝したものの予想外の不振で完敗しました。「来年は阿久根市での開催。今年の雪辱をしたい」と選手たちは語っていました。



懐しいふるさとの広報紙

兵庫県伊丹市森本二丁目二六六番地

森本 泰蔵さん



郷里を離れて暮らす私たちにあって「広報あくね」は、懐しいふるさとの便りであり、年とともに変わりゆく郷里の情報源でもあります。

す。阪神地区阿久根会の事務局となっている私のところに「広報あくね」が送られてくると、伊丹市議の田原克己君と尼ヶ崎市の鶴崎一男君によって会員に配付され多くの人たちに喜ばれています。私も郷里を離れて五十年になりますが、思い出の多い阿久根のこととは忘れたことがございません。幼い頃、遊び回った砂浜や川など、懐しさでいっぱい입니다。

帰郷の折、桑島、小島、元島に生い茂っていた松が枯死したのをみて、時代の波を感じました。

毎から、川から、町並みから私たちの少年時代の懐しい面影が消えていくことは、一まつの哀愁を誘います。

この頃では物流システムの発達によって、郷里の物産も容易に手に入るようになりました。

ときどき、近くに住む親せきの者たちと、ふるさとの味覚を味わいながら談笑し、郷里をしのぶこの頃です。(上野出身)

保健 メモ

清涼飲料水は

チクロなど合成甘味料の使用禁止により、清涼飲料水にも多量の砂糖が使われていますが、砂糖・米・麦を力のもとにするには、ビタミンBが必要で、砂糖など炭水化物を多く含む食品を過剰にとると、ビタミンBが不足し、脚気や全身倦怠・神経痛・筋肉痛などの症状のもとになります。豆類・強化米・肝臓はいまやビタミンBを多く含む食品をとり、健康に注意したいものです。

社協だより

次のかたがたから、香典返しにかえて市社会福祉協議会に寄付がありました。(敬称略)

- 猿楽喜右衛門(佐賀) 土田スミエ(大丸) 松下ハジメ(尻上)
- 西園トミ(高之口) 寺地恵津子(大林) 宮原正義(牧内) 寺地恵雄(尻上) 出口フル(下村) 上平コメエ(尻上) 村ツルエ(尻上) 尻無兵衛(尻上)

手料理

イカのいんろう煮

【材料】四人前 スルメイカ四はい、人参四分の一、ゴボウ二分の一、小麦粉大さじ一杯、卵一個、砂糖大さじ一杯と三分の二杯、みりん小さじ一杯と三分の二杯、しょうゆ大さじ二杯、針しょうが少々。

【作り方】①イカは足をぬき、ふたと軟骨をとり水洗いしてふきんで水けをぬく②イカの足、人参、ゴボウをみじん切りにして卵、小麦粉とまぜる③イカの胴に②を八分めくらいつめ、詰め口を糸で縫う④なべに水カップ一、砂糖と①のイカを入れ、おとしおたをし中火であくをすくいながら五分ほど煮たて、みりんとしょうゆを加え弱火で約十分煮る。イカに細井竹串をさし、煮汁がでなくなったから火を止める⑤詰め口を切り、一・五杯幅の輪切りにし、器にもり針しょうがをそえる。

みんなの福祉⑧

戦没者の遺族に特別弔慰金を支給

国は戦没者などの遺族に対して特別弔慰金を支給することになっています。弔慰金の額は1人当たり20万円で、国債発行による支給となっています。

現在、市福祉事務所請求書を受付けていますので、下記に該当するかたは市福祉事務所手続きをしてください。

なお、受付期間は昭和50年10月から昭和53年4月末日までとなっていますので、早目に請求手続きをしてください。

支給対象者

昭和12年7月7日以降死亡した軍人・軍属などの遺族で、公務扶助料・遺族年金などの受給権者が昭和50年4月1日以前に亡くなった場合で、他の関係遺族に対して支給されます。

特別弔慰金の額

戦没者1人につき20万円を支給。支給方法は遺族に対し国債を発行し、10年以内に償還することになります。ただし、その間の利子は無利子です。

請求に必要な書類

すでに3万円の弔慰金を受給しているかたは請求者の戸籍抄本と印鑑。はじめて請求されるかたは戦没者の死亡がわかる戸籍簿本と請求者の戸籍抄本及び印鑑。

特に最近、県内各地で自動販売機による遊技具やいかわしい週刊誌が販売され、青少年の健全な育成を阻害していることから、自動販売機による週刊誌の販売について業者の協力を求めました。

しかし、青少年の健全な育成は家庭や学校はもちろんのこと、地域社会の協力が必要なことから、今後は売らない、買わない、見せないの「悪書追放三不運動」を進める一方、シンナーなどの乱用防止を呼び掛け、地域ぐるみの運動を進めることにしています。

「地区内をきれいにしよう」と七月二十四日裏野親子会は、裏野村中線など六路線を巡回。道路や側溝などに捨ててあった空き缶やビン類などを収集しました。

同親子会の坂上誠一さんは「空き缶やビン類の収集は、子供たちの道徳心を養うためにも役立つと思います」と話されています。

阿久根小学校PTAは「よい子を育てる三つの運動」を展開し、児童の非行防止を進めています。この運動を更に徹底するため、各地区に生活指導員を置くことにし

このほど五十五人に任期一年の委嘱状を交付しました。

同校では①親子そろって楽しい読書②家族そろって丈夫な体③みんなでかけよう愛のひとこえの

「青少年の健全な育成を阻害している悪書などを追放し、健全な青少年を育成しよう」と、七月十五日農業研修館会議室で社会環境浄化座談会が開かれました。

会には坂元市長をはじめ市内の学校や婦人会・PTAなどの代表者のほか、書店・金物・塗料店などの代表者も出席。青少年を取り巻く社会環境の浄化について議論しました。

このなかで、前田和平県青少年課主事は、社会環境浄化運動の具体的な実施運動として悪書の追放とシンナー・接着剤など薬物乱用の防止を提唱しました。

「足を鍛えて長生きしよう」と遠矢老人クラブのお年寄り約三十人は、七月十三日国民宿舎「あぐね」で研修会を開き、国民宿舎までの往復六路を列を連ねて歩きました。同日は三十度を越す炎天下にもかかわらず、全員が完走ならぬ完歩。「年はとつても、歩くことなら、まだまだ若い者には負けん」と、流れ出る汗をふきながら楽しそうでした。

小PTA 生活指導員を設置

「人の子もわが子

心のこもった励ましの声を」と



移動公民館車で市街地をパトロール

悪書追放などを決議 社会環境浄化座談会

会には坂元市長をはじめ市内の学校や婦人会・PTAなどの代表者のほか、書店・金物・塗料店などの代表者も出席。青少年を取り巻く社会環境の浄化について議論しました。

「足を鍛えて長生きしよう」と遠矢老人クラブのお年寄り約三十人は、七月十三日国民宿舎「あぐね」で研修会を開き、国民宿舎までの往復六路を列を連ねて歩きました。同日は三十度を越す炎天下にもかかわらず、全員が完走ならぬ完歩。「年はとつても、歩くことなら、まだまだ若い者には負けん」と、流れ出る汗をふきながら楽しそうでした。

三つを、よい子を育てる運動として進めています。

特に愛の一声運動は「人の子もわが子、心のこもった励ましの声を」というもので、児童の非行を見て見ぬふりをせず、自分の子供のつもりで勇気をもって一声かけようという運動です。

同校PTAでは、この運動の具体策として、まず生活指導員制度

をスタート、徐々に地域社会にも浸透させたいと話しています。

そこで、当園、夏休み期間中の非行防止を図るため、指導員を七班に分けて、校区内の商店街や公園・海岸などをパトロール。初日の七月二十五日は、市教育委員会や警察署員らもパトロールカーに乗り込み、青少年の非行防止を呼びかけていました。

川や道路を清掃

川畑中老人クラブは、七月二十七日、地区内の川や道路などを清掃しました。同日はラジオ体操に駆け付けた子供たちも応援。一掃になって、川に捨ててあるガラス類や鉄くずなどの危険物を拾ったあと、地区内の道路も清掃。

クワを手にもった清掃をするお年寄りたちに混じって、子供たちも一生懸命手伝っていました。

お年寄りが歩け歩け運動

「足を鍛えて長生きしよう」と遠矢老人クラブのお年寄り約三十人は、七月十三日国民宿舎「あぐね」で研修会を開き、国民宿舎までの往復六路を列を連ねて歩きました。同日は三十度を越す炎天下にもかかわらず、全員が完走ならぬ完歩。「年はとつても、歩くことなら、まだまだ若い者には負けん」と、流れ出る汗をふきながら楽しそうでした。

親子会が空き缶など収集

「地区内をきれいにしよう」と七月二十四日裏野親子会は、裏野村中線など六路線を巡回。道路や側溝などに捨ててあった空き缶やビン類などを収集しました。